

令和5年度
此花区運営方針の実績・評価
及び
令和6年度
此花区運営方針の取組状況



此花区役所



「令和5年度此花区運営方針及び令和6年度此花区運営方針」

経営課題1 防災・減災

経営課題2 子ども

経営課題3 福祉

経営課題4 まちづくり・環境



Point

上記の4項目を重点的に取り組む主な経営課題と位置づけています。

経営課題 1 防災・減災

現状	課題	取組	R 5 年度 実績	R 5 年度 評価	R 6 年度 取組
<p>津波・大津波時に津波避難ビル等へ避難することを知らない区民の方が多い。</p> <p>自宅の安全基準や自宅周辺の海拔を知らない区民の方が多い。</p>	<p>多くの区民に区外への分散避難も含め、適切な避難行動をとるよう備えの促進が必要</p>	<p>世帯別避難計画である「わが家の避難プラン」を作成した世帯の数4,100世帯以上（R3～R5作成合計目標10,000世帯以上）</p> <p>【具体的取り組み】 出前講座、小中学校における防災授業を実施し、「わが家の避難プラン」の作成を勧奨・支援</p> <p>各種イベント、広報誌等での作成を勧奨・支援</p>	<p>「わが家の避難プラン」の作成実績</p> <p>令和5年度 4,721世帯 （令和3～5年度累計10,671世帯）</p>	<p>達成状況【A順調】</p> <p>⇒引き続き、取り組みを進める。</p>	<p>災害に備えて一人ひとりの家族や生活状況に合わせた避難行動を考える「マイ・タイムライン（わたしの防災行動計画）」の作成を促進・支援</p> <p>気象情報、避難情報、避難所情報等が確認できる大阪市防災アプリの利用勧奨</p> <p>上記に係る防災講座の実施や啓発等 【新規】</p>

経営課題2 子ども

現状	課題	取組	R5年度実績	R5年度 評価	R6年度 取組
児童・生徒の学力が大阪市平均以下	学習時間の向上と学習機会の提供	区内8小学校での 単元テスト の実施と学期ごとに結果のフィードバックを実施 4月から区内全小学校区において小学5・6年生対象の課外学習事業「Cocoチャレ塾！」を新規に、中学生対象の「花まる塾」を継続して実施	<u>子どもに学習の習慣がついていると思うと回答した割合：</u> 69.4% ※此花区区民アンケート（目標：80%以上）	進捗状況 【B順調でない】 ⇒目標達成のため、R6から「Cocoチャレ塾！」と「花まる塾」を統合し、新たな事業形態として新「Cocoチャレ塾！」を構築し、受講者数の増加をめざす。	学習用一人一台端末の持帰りや、放課後等補充学習の実施により、授業以外での学習機会提供や学習時間向上の効果を上げる学校数を増やす。 学校現場でのさらなる活用を想定し内容の更新を進め、単元別学習教材の利用を継続する。 小学5・6年生対象「Cocoチャレ塾！」と中学生対象「花まる塾」を統合し、同一事業者による新「Cocoチャレ塾！」を実施する。「習い事・塾代助成事業」の助成対象がR6年10月に市内すべての小学校5・6年生、中学生に拡大されることを機会として広報強化・利用促進を行い、受講生数の前年度比1割増を目指す。
課題解決に向けて取り組む児童の割合が大阪市平均以下	課題解決能力の向上	区内全8小学校にて ロボット「ペッパー」を活用した課題解決学習 の実施、発表会の実施	<u>課題解決に向けて、自分で考え自分から取り組んでいたと回答した児童の割合：</u> 75.2% ※全国学力・学習状況調査（目標：全国平均78%以上）	進捗状況 【B順調でない】 ⇒目標達成のため、 課題解決学習を各校の独自性を尊重しながら実施 する。	年間通じたプログラミング教育や「主体的で対話的で深い学び」の計画的実施により、児童生徒の課題解決能力を向上する学校数を増やす。 区内全8小学校にて引き続き ロボット「ペッパー」を活用した課題解決学習 の実施。授業については、今年度は区役所が各校の実情にかんがみ、効果的な授業内容を提示する。
将来の夢や目標を持つ生徒の割合が大阪市平均以下	生徒が将来の夢や目標をもてるような体験の機会の提供	区独自の取り組みとして 職場体験学習・職業講話協力企業リスト を作成し、区内全3中学校での 職場体験学習・職業講話授業サポート の実施	<u>将来の夢や目標を持っていると回答した生徒の割合：</u> 56.0% ※全国学力・学習状況調査（目標：全国平均66.3%以上）	進捗状況 【B順調でない】 ⇒目標達成のため、 職業体験・職業講話の参加募集をHPで呼びかけ 、協力企業等の一層の充実を図る。	協力企業によるトップアスリートやキャリア教育講師などの派遣制度を周知強化し、制度活用する学校数を増やす。 2中学校で職場体験を1学期中に実施し、職業講話を3学期に実施予定。1中学校は職業体験、職業講話を2学期中に実施予定 <u>「将来の夢や目標を持っている」と回答した生徒の割合（目標：全国平均以上）</u> ※全国学力・学習状況調査

令和6年度 此花区での教育支援の取り組み

単元テストの実施



職業体験・職業講話等の実施



新「CoCoチャレ塾！」 (小学5・6年生+中学生)の実施



ロボットを活用した課題解決学習の実施



経営課題 3 福祉 【高齢者等の見守り】



現状	課題	取組	R 5 年度 実績	R 5 年度 評価	R 6 年度 取組
<p>単身高齢者の数 H27年国勢調査： 4,467世帯 ↓ R2年国勢調査： 5,202世帯</p> <p>このはな地域見守り タイのボランティア の数 R元年度:284人 ↓ R2年度：298人 ↓ R3年度：254人 ↓ R4年度：251人</p>	<p>「気にかける」地域づくりが実現し、誰もが安心して生活できる状態→「気にかける つながる 支えあう」</p> <p>このはな地域見守りタイのボランティアの数を増やし、その活動をより充実させること。</p> <p>このはな地域見守りタイ事業の地域での認知度を向上させ、見守りボランティアの発掘・育成を行う。</p> <p>このはな地域見守りタイの見守り活動にICTツール等を用いた手法を検討していくことで、対面でのコミュニケーションが苦手な方やコロナ禍の状況であっても見守り活動が維持できるよう検討をすすめる。</p>	<p>区民まつり等のイベントで地域見守りタイボランティアの活動をPR（2件実施済み）</p> <p>見守り活動のスキルアップのためや社会的なつながりが希薄な世帯への支援を強化できるテーマや障がいや障がい者への理解の研修を実施（令和6年1月）</p> <p>孤独死等の未然防止やヤングケアラー支援等につながる研修等を実施（令和6年3月）</p> <p>区社協による見守り活動のYouTubeによる情報発信（令和6年3月）</p> <p>見守り活動のスキルアップのためや社会的なつながりが希薄な世帯への支援を強化できるテーマや障がいや障がい者への理解の研修</p>	<p>高齢者や障がい者等について、地域から十分に見守りが行われていると感じると回答した割合： 31.9% ※此花区区民アンケート（目標：50%以上）</p>	<p>達成状況 【B順調でない】</p> <p>知ってもらうことホームページや広告媒体（ポスターなど）を活用が課題</p> <p>このはな地域見守りタイボランティアの認知に課題</p> <p>「気にかける」地域づくりについての周知も一部の範囲にとどまる。</p>	<p>区広報誌、YouTube、ホームページ及び広報媒体（ポスターなど）を活用 「気にかける」地域づくりを推進していくために区社会福祉協議会と協働して周知・広報などを実施及び 区民まつりをはじめとした各種イベント実施時にこのはな地域見守りタイボランティアにかかるPRを強化</p> <p>【具体的取り組み】 「気にかける」地域づくりについてパンフを作り、主として福祉関係に周知(令和6年度後半)</p> <p>社会的関心が高まってきているテーマ等を中心としてこのはな地域見守りタイボランティアへの研修を実施</p>

経営課題 3 福祉【児童虐待予防】



現状	課題	取組	R 5 年度 実績	R 5 年度 評価	R 6 年度 取組
<p>児童虐待相談 件数 R4 年度 75件 R5 年度 72件</p> <p>子育て支援室の相談 件数 R4 年度 314件 R5 年度 283件</p> <p>こどもサポートネット事業で学校から相談のあった件数 (スクリーニング 会議Ⅱの件数) R4 年度 78件</p> <p>うち、不登校児童 (不登校傾向を含む) 44名 R5 年度 87件 うち、不登校児童 (不登校傾向を含む) 55名</p>	<p>4 歳児を中心に無在籍や無登園の子へのアプローチを強化する。</p> <p>学校と子育て支援室との連携を密にし、役割を明確化することで、学校の状況に見合った支援の導入を図る。</p>	<p>4 歳児訪問・見守り支援事業による区独自の絵本選定「おなかのこびと」、「きみのげんきをマモルンジャー」を行い、無在籍や無登園の児童への家庭訪問や、保育所・幼稚園への訪問を実施</p> <p>不登校支援の推進を図るために区役所で「このはなすまいるルーム」を実施</p> <p>児童虐待予防事業の相談員の定期巡回</p> <p>SSW (スクールソーシャルワーカー) の増員 令和 5 年10月にヤングケアラーSSWが配置され、これまでのこどもサポートネットSSWと 2 人体制へと増員</p>	<p>重大な虐待件数 0 件 (目標：0 件)</p> <p>4 歳児訪問・見守り支援事業の 4 歳児訪問実施児童数 468人 見守り支援事業児童数 11人</p> <p>「このはなすまいるルーム」を48回実施 支援児童数 191人 (延べ) ボランティア 107人 (延べ)</p> <p>児童虐待予防事業の心理相談員・ 専門相談員の相談件数 (延べ) 心理相談員 248件 専門相談員 391件</p> <p>こどもサポートネット事業 スクリーニング会議Ⅱの実施 37回 (全小学校・中学校を訪問) こどもサポートネット推進員の実績 電話 410件、手紙等 10件、家庭訪問 86件、その他 (区役所で面談等) 5件</p>	<p>達成状況 【A順調】</p> <p>⇒保育所や幼稚園との連携の継続が必要</p> <p>⇒ケースに応じて学校も含め役割分担や連携の強化が必要</p> <p>⇒小学校において、こども青少年局から派遣の SC (スクールカウンセラー) への相談ニーズが高まっている。</p> <p>⇒こどもサポートネット事業は、学校や区役所による支援が中心であるものの、地域との連携についても必要</p>	<p>4 歳児訪問・見守り支援事業において、保育所や幼稚園が虐待の兆候や状況の変化を把握して区役所と連携できるよう、変化の兆候等にかかる事例共有を行う。 (2,283千円)</p> <p>このはなすまいるルーム事業を活用してこどもの居場所を確保するとともに役割分担や連携の強化につながるよう、学校等との認識共有の強化につながる資料を作成 (1,035千円)</p> <p>SC (スクールカウンセラー)への相談ニーズを補うため、児童虐待予防事業による支援を進める。その周知を推進するためにわかりやすいPR媒体等を作成 (8,577千円)</p> <p>こどもサポートネット事業において、全小学校区に拡充したこどもの居場所等の地域資源を紹介するためのツールを作成</p>

現状	課題	取組	R 5 年度 実績	R 5 年度 評価	R 6 年度 取組
地域活動協議会の認知度が低い	地域活動協議会情報の発信の強化	区役所の広報紙及び広報板による情報発信（毎月掲載） 地活協実施のイベント等において、地活協の取り組みが多岐にわたることをPR	地活協を知っていると回答した割合： 46.1% ※ 区民アンケート調査（市民局実施） （目標：56%以上）	達成状況 【B順調でない】 ⇒ 広報紙や庁内掲示板などで情報発信を行うことに加え、様々な機会を捉えてPRする必要がある。	地域活動協議会の認知度を向上させるため、イベント等、地域活動の場や広報紙等で周知を行うだけでなく、ICT等を活用し幅広い世代にPRする。 地活協を知っていると回答した割合： 58%以上（目標年次：令和8年度） ※ 区民アンケート調査（市民局実施）
地域活動に従事している区民の割合が低い	新たな担い手の確保（現役世代の参加促進）	地域活動協議会と地域活動協議会外部の人がつながる場を設置（1回）	地域活動にスタッフとして参加したことがあると回答した割合： 25.2% ※ 此花区区民アンケート （目標：27%以上）	達成状況 【B順調でない】 ⇒ 地域活動への参加者を全体的に増やす必要がある。 ⇒ 個々の地域活動協議会へ参入したいNPO、企業などへのアプローチが必要である。	地域活動協議会の新たな担い手を確保するため、主たる構成団体のひとつである町会の加入促進を図る。NPO・企業・人材等、地域資源と交流会等の開催を行う。 地域活動にスタッフとして参加したことがあると回答した割合： 35%以上（目標年次：令和8年度） ※ 此花区区民アンケート
地域課題の解決に向けた取組が進んでいない地域がある	それぞれの地域特性に即した地域課題を把握し、それに応じた最適な支援が必要	地活協のメンバーが交代した地域には、地活協總會の場での地活協の意義、機能について区役所やまちづくりセンターによる説明を実施（9回）するほか、地域に出向いて活動内容の透明性を確保するための会計説明会を開催するなどきめ細やかな支援（4回）	地活協の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取り組みが自律的に進められている状態にあると思う割合： 91.2% ※ 地活協の構成団体へのアンケート （目標：94%以上）	達成状況 【B順調でない】 ⇒ 地域活動協議会スタッフが交代した地域への地域活動協議会の役割を十分に伝える必要がある。	地域活動協議会が運営していく上での課題を自律的に解決できるよう、引き続きまちづくりセンターを通じてきめ細やかな支援を行う。 地活協の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取り組みが自律的に進められている状態にあると思う割合： 94%（目標年次：令和8年度） ※ 地活協の構成団体へのアンケート

地域集会所でのスマホ教室



交流会の様子



会計説明会の様子



町会加入チラシ

町会加入募集しています！

町会ってなあーに？

「町会」は、住みやすいまちづくりのために、ご近所のみなさんでつくる組織です。地域でのイベントや活動に参加したり、隣近所でのつながりや知り合いが増えれば、防災など、いざという時に助け合える関係がうまれます。

どんな活動をしているの？

<p>■コミュニティ作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節のお祭りや、交流イベントなど、楽しい行事がいろいろ ・子どもたちのつながりづくり（子ども会） ・地域の清掃活動 	<p>■地域の情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回覧板、町会掲示板などでの地域情報の発信 ・現在は、新たにLINEを使った回覧板や地域情報の発信にもチャレンジ中 	<p>■地域の安心づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時には町会単位で安否確認など、さまざまな連絡 ・防犯灯の維持管理や見守り活動、歳末夜警の実施
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

☆町会に参加した人たちの声☆

「面倒だと思っていた近所づきあひも、思ったほどでなくて安心です」

「気になっていたイベントにも参加しやすくなりました」

町会に入ったら、なにをすればいいの？

まずは気になる行事や活動に参加してみるといいかもしれません！ 知っている顔が増えれば、地域に暮らす安心感や、楽しみも生まれます。関心のある行事や活動に関わることで、地域はより暮らしやすいまちになっていきます。

● 高見地域行事予定 ●

- ・11/12(日) ふれあいフェスタin高見フローラルタウン (ふれあい喫茶や生涯学習ルームの作品展示もあります)
- ・12月末 歳末夜警
- ・R6年1月頃 おもちつき大会
- ・R6年2月頃 防災訓練

※予定は確定ではありません

このチラシについての問い合わせ先

高見連合振興町会 担当：

TEL：

☎：

経営課題 4 まちづくり・環境 【まちづくり②】



現状	課題	取組	R 5 年度 実績	R 5 年度 評価	R 6 年度 取組
夢洲（万博・IR）やUSJの賑わいによる来訪者が此花区内部を素通りする恐れ	2025大阪・関西万博のご当地として、万博を契機にまちを活性化が必要がある。	<p>≪12月、3月≫ 此花西部臨港緑地エリア水辺賑わいづくり協議会において、水辺エリア整備計画の進捗状況や周辺道路の利活用に関する情報共有</p>	<p>此花西部臨港緑地エリア水辺賑わいづくり協議会を通じ、水辺エリアの様々な企業・施設管理者等と充実した意見交換や協議が図られている。</p>	<p>達成状況 【A順調】</p> <p>⇒万博開催時及び万博開催後における段階的な水辺エリアの整備が進められようとしている。水辺エリアの整備を通して、さらなる魅力の向上と賑わいづくりを図っていく必要がある。</p>	<p>≪随時≫ エリア整備工事の本格実施及び協議会などを通じた進捗の共有を適宜図っていく。 また、今後、水辺エリア及びその周辺におけるさらなる魅力の向上と賑わいづくりを図っていくため、引き続き協議会を通じて官民が連携し具体的な共創施策を実施していく。</p>
		<p>≪適宜≫ コアメンバー会議等により本プロジェクトの方向性や意見などを集約・整理</p> <p>≪1月≫ 本プロジェクトの構想を策定</p> <p>≪3月≫ ①本プロジェクトの機運を大いに盛り上げるアート作品の制作・設置及び強力に発信するイベントの開催 【「此花水龍」の制作・設置及び同作品の発表会を開催】</p> <p>②万博のコンセプトをふまえた作品の制作・設置及びお披露目イベントの開催 【「万博ロゴシンボル」の制作・設置及び同作品のお披露目イベントを開催】</p>	<p>「<u>此花区内の正蓮寺川公園にパブリックアート作品を展示していくことがまちの盛り上げにつながりそうだと感じる・どちらかと言えば感じる</u>」と回答した割合：42.8% ※此花区区民アンケート</p> <p>・此花区Xの閲覧数 此花水龍完成に関するポスト いいね 622件 リポスト 231件 表示回数 約32,000回</p> <p>・此花区HPの閲覧数 正蓮寺川公園アートプロジェクト 閲覧数 3月2,227回 4月1,451回 5月 295回</p> <p>パブリックアート「此花水龍」が設置されました！ 閲覧数 4月2,364回 5月 287回</p>	<p>達成状況 【A順調】</p> <p>⇒多様な媒体等を通じて本プロジェクトを周知・PRし、本プロジェクトの機運の盛り上げを実施できたと考ええる。</p> <p>ただし、令和6年度より本プロジェクトを本格実施している中で、区民・地域と一体となってより強力に推進するとともに、その動きが広がり此花区全体のまちの盛り上げと魅力の向上を図っていく事が必要</p>	<p>≪11月予定≫ 正蓮寺川公園において、令和5年度に設置したパブリックアート2作品も活用しながら、本プロジェクトを大いに盛り上げるアートイベントを開催し、区民や地域の方が本プロジェクトへの興味を高め、かつ楽しんでもらうことにより、本プロジェクトの認知度と理解の向上を図る。</p> <p>正蓮寺川公園アートプロジェクトにかかる盛り上げイベントの開催 (1,988千円)</p> <p>≪3月予定≫ 正蓮寺川公園に「区民との共創」によるパブリックアートを制作・設置するとともに、イベント等により全国に強力に発信することで、本プロジェクト及び万博の機運を大いに盛り上げる。</p> <p>「区民との共創」によるパブリックアートを制作・設置及びイベント等の開催 (22,400千円)</p>

現状	課題	取組	R 5 年度 実績	R 5 年度 評価	R 6 年度 取組
<p>気候変動など現在、地球環境について考える大きな転換期を迎えている。</p>	<p>区民ひとりひとりに持続可能な社会の実現に向けて関心を持っていただく取り組みを行う必要がある。</p>	<p>みんなでつなげるペットボトル循環プロジェクトを新たに1地域で実施（恩貴島地域）</p>	<p>未実施地域中 1 地域で実施済 （目標：1地域以上）</p>	<p>達成状況【A順調】 ⇒引き続き、取り組みを進める。</p>	<p>ペットボトル循環プロジェクトを拡大するために未実施地域への働きかけ （目標：未実施地域中 1 地域以上）</p>
		<p>児童が関心を持って学べるためのロボットを用いた環境学習コンテンツを、授業で活用してもらうため小学校8校に提供</p>	<p><u>地球環境に関心を持っている子どもの割合：</u> 96.5% ※学校へのアンケート （目標：95%）</p>		<p>児童が持続可能な社会の実現に関心を持てるようなコンテンツを学校に提供し、授業等において活用してもらう。 <u>地球環境に関心を持っている子どもの割合</u> （目標：95%） ※学校へのアンケート</p>

令和6年度 此花区での環境の取り組み

みんなでつなげるペットボトル循環プロジェクト



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標